

つばめ通信

5月号

スラバヤ日本人学校

令和6年5月7日



朝雲分けて 蒸帰りぬ プラントスの里に 幾千里 日本生まれの子を励まして われらスラバヤの子 蒸に学ぶ 努力の証

笑顔をつくる

校長 福田 栄喜

ことわざの中に「笑う門には福来る（わらうかどにはふくきたる）」ということわざがあります。意味は、「いつも笑い声があり、和気あいあいとした家には、幸福が巡ってくるもの」です。つまり、「いつも笑っている人（家）には、幸福が巡ってくる」ということです。笑顔には、幸運を引き寄せる力があるのかもしれませんが。高校野球でピンチの時に「笑顔、笑顔」と呼びかけ合っている場面がありました。笑顔は脳をリラックスさせて、緊張を和らげる効果があるようです。ピンチの場面で笑顔をつくることにより、冷静になることができ本来の力を発揮できるのだそうです。

また、笑顔はよい友達関係をつくれます。笑顔を向けられて嫌な気分になる人はいません。「楽しいから、笑顔になる。笑顔は、心から自然に出るもの。」という人も多いと思います。しかし、笑顔をつくと楽しくなり、笑顔をつくれば、周りの人も笑顔になると思います。笑顔でいると、たくさんの幸せが訪れると思います。ぜひ、子どもたちには笑顔を大切に、自然に笑顔をつくれるようになってほしいと思います。

創立記念式典を5月18日に執り行います。保護者の皆様には、ご多用の折恐縮ですが、是非ご出席をお願いいたします。

本校は、大正14年に世界で第3番目の日本人学校として開校しましたが、昭和16年に太平洋戦争のため閉校しました。その後、昭和54年に全日制日本人学校として開校しました。開校したこの年の5月に第1回創立記念式典を挙行し、今年度は第46回創立記念式典となります。

<沿革史>

1925年(大正14年)4月：インドネシア初の日本人学校「スラバヤ日本国民学校」が世界で第3番目の日本人学校として開校

1941年(昭和16年)10月：太平洋戦争のため閉校

1976年(昭和51年)9月：日本語補習校開校

1978年(昭和53年)1月：日本語補習校専任教員派遣

1979年(昭和54年)1月：日本国政府より全日制日本人学校設立認可

1979年(昭和54年)3月：インドネシア政府より外国人学校として仮認可

1979年(昭和54年)4月：全日制日本人学校設立